

はしがき

2011（平成23）年3月11日の「東日本大震災」により、私たちはあたりまえの日常生活がいかに大切であるかを痛切に思い至ることになった。人は人なしでは生きてはいけない。今こそ人の「絆」がクローズアップされ、「絆」をいかに築いていくのかが問われている。

しかし、現在の社会はグローバリゼーションの流れの中で、経済は低迷、働き方も「年功序列」や「終身雇用」といった日本型経営は薄れ、「パート」「アルバイト」「派遣」といった非正規雇用が中心となり、労働力の流動化は一段と進んだ。その結果、若年層では所得を得ても、貧困層が増え、結婚や出産を諦めざるをえない方も珍しくない状況である。加えて、高齢者層にも格差が生じ、家族から分離した方、貧困化した方、否応なく「孤立死」する方も増え、現在の社会問題となっている。

このような状況の中、「家族とは何か」「家族の役割とは」「家族をめぐる問題」等を学習する「家庭支援論」をここに上梓することになった。本書は保育士を対象にした。近年、保育士養成カリキュラムが変更され、本書も「家族援助論」から「家庭支援論」へと科目名も変わり、内容も修正されたのである。修正内容は厚生労働省が示したカリキュラムに沿って、本書を作成した次第である。

本書は情熱と使命感ある執筆者たちに健筆をいただいた。内容によっては、重複した内容もあることをお許しいただきたい。執筆者の思いを大切にしたい結果であり、学習するうえで問題ないと考えている。

最後に大学教育出版の佐藤社長、安田さんにいろいろとお手数をかけた。この場を借りて、感謝申し上げたい。

平成24年4月吉日

松井 圭三

家庭支援論

目 次

はしがき	i
------	---

第1章 家族の意義と役割	1
--------------	---

第1節 家族の意義と機能	1
--------------	---

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 家族とは | 1 |
| 2. 家族の歴史 | 2 |
| (1) 20世紀以前の家族の変容 | 2 |
| (2) 20世紀以後の家族の変容 | 2 |
| (3) わが国の戦前における家族の特徴 | 3 |
| (4) わが国の戦後における家族の特徴 | 3 |
| (5) わが国の21世紀における家族の特徴 | 3 |
| 3. 現代の家族状況 | 5 |
| (1) 家族の形態とは | 5 |
| (2) 結婚とは | 6 |
| (3) 結婚の多様化 | 6 |
| (4) 夫婦のきずなの重視 | 6 |
| (5) 離婚とは | 7 |
| (6) 夫婦別姓 | 7 |

第2節 家庭支援の必要性	8
--------------	---

- | | |
|------------------|---|
| (1) 家族の危機 | 8 |
| (2) 地域社会の解体 | 8 |
| (3) 家族に対するサービス体系 | 8 |

第2章 家庭生活を取り巻く社会状況	11
-------------------	----

第1節 現代の家庭における人間関係	11
-------------------	----

- | | |
|-------------|----|
| (1) 夫婦関係 | 11 |
| (2) 親子関係 | 12 |
| (3) きょうだい関係 | 12 |
| (4) 祖父母との関係 | 13 |

第2節	地域社会の変容と家庭支援	14
第3節	男女共同参画社会とワーク・ライフ・バランス	16
	(1) 男女共同参画社会	16
	(2) 目指すべき社会政策	17
	(3) ワーク・ライフ・バランスの具体例	21
第3章 子育て家庭への支援体制 23		
第1節	子育て家庭の福祉を図るための社会資源	23
	(1) 子どもと子育て家庭の現状	23
	(2) 少子化という現象	28
	(3) 子育て家庭支援の重要性	32
	(4) 子育て家庭に関わる諸問題	36
第2節	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	40
	(1) 少子化対策から次世代育成支援対策へ	40
	(2) ワーク・ライフ・バランス	50
	(3) 父親の育児参加	51
	(4) 地域の子育て家庭への支援	54
	(5) これからの多様な子育て家庭支援に向けて	60
第4章 多様な支援の展開と関係機関との連携 63		
第1節	子育て支援サービスの概要	63
	(1) 「次世代育成支援対策推進法」	63
	(2) 「子どもと家族を応援する日本」重点戦略	64
	(3) 子ども・子育てビジョン—子どもの笑顔があふれる社会のために—	65
	(4) 「児童福祉法」に定める事業	66
	(5) 児童福祉文化財の推薦	75
	(6) 厚生労働省予算にみる子育て支援サービス	75
	(7) 子ども手当	77

第2節	保育所入所児童の家庭への支援	79
(1)	保育所保育指針の改定	79
(2)	保育所の意義	81
(3)	保育所の職員・設備等の基準	82
(4)	保育所への入所	84
(5)	保育料	84
(6)	保育所の状況	85
(7)	保育所等に関する国家予算	87
(8)	保育対策等促進事業費補助金	89
(9)	保育の内容等の自己評価	90
(10)	認可保育所以外の保育施設	91
(11)	こども園	94
第3節	地域の子育て家庭への支援	96
1.	地域の子育てを支える事業	96
2.	地域子育て支援拠点事業とは	97
(1)	地域子育て支援拠点事業の概要	97
(2)	地域子育て支援拠点事業の対象	99
(3)	地域子育て支援拠点における支援	102
3.	地域子育て支援拠点の課題	108
第4節	要保護児童及びその家庭に対する支援	111
(1)	要保護児童と社会的養護の現状	111
(2)	児童養護施設	113
(3)	乳児院	117
(4)	里親	118
(5)	障がい児のための施設	120
(6)	児童自立支援施設	123
(7)	母子生活支援施設	124
第5節	子育て支援における関係機関との連携	125
(1)	子育て支援における専門機関の役割	125

	(2) 子育て支援における専門職の役割	129
	(3) 子育て支援における関係機関の連携とネットワーク	133
第6節	子育て支援サービスの課題	136
	(1) 家庭支援専門相談員（ファミリーソーシャルワーカー）の課題	136
	(2) 子育て支援における関係機関の連携と今後の課題	137
	(3) 障がいを抱える児童への支援事例	137
	(4) 相談援助の方法と技術	138
	(5) 児童虐待防止に向けた連携	141
	(6) 発達障害児の支援に向けた連携	143
	(7) 不登校児童の支援に向けた連携	143
第5章	障がいを持つ子どもの家庭への支援	146
第1節	障がいを持つ子どもの子育てと家族	146
	(1) 障がいをどう捉えるか	146
	(2) 子育てをめぐる課題とその背景	147
	(3) 障がいを持つ子どもにとっての「家族」	151
第2節	障がいを持つ子どもの親への支援	152
	(1) 親を取り巻く状況とその心理	152
	(2) 親への支援の視点	155
第3節	障がいを持つ子どものきょうだいへの支援	159
	(1) きょうだい児を取り巻く状況とその心理	159
	(2) きょうだい児への支援の視点	161
執筆者紹介		165

